KANEPACKAGE GROUP OF COMPANIES

KP Green Earth

A CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY PROJECT NEWSLETTER

3rd issue 2023

埼 玉 県
SDGsパートナー

SDGs未来都市
埼 玉 県

経営ビジョン

私たちは、包装設計と梱包材そしてサービスを通じ、「驚き」と「感動」と「安心」を、
世界の一つでも多くの国の、一人でも多くのお客様に、スピーディー且つタイムリーにお届けして行きます。

また、ステークホルダーからの信頼と企業の存在価値を高め、
エキセレントカンパニーを目指して行きます。

目次

ご挨拶 02
会社概要 03
カネパッケージグループのCSRとSDGsの取り組みについて 03
マングローブ植樹活動の最新情報 04
マングローブと気候変動緩和 05
マングローブ植樹活動
　マングローブ・プロジェクトにおけるビジネス・パートナーシップ 05
　第29回 マングローブ植樹とツアー 06
　中国 VOION社役員のマングローブ植樹活動参加 06
　三菱UFJ銀行様よりマングローブプロジェクトへの支援 07
　第32回 マングローブ植樹とツアー 07
SDGsと気候変動対策 08
地域への支援
　デイケアセンターへの本と学用品の寄付 09
　クリスマスギフトプレゼント 09
　医療支援 10
　株式会社三幸製作所と株式会社興伸工業より医療機器の寄贈 11
　視力回復により希望を与える：眼科手術のサクセスストーリー 11
受賞等＆弊社拠点 12
弊社役員・従業員より皆様へ 13-14
プログラム及び目標 14

ご挨拶

金坂　良一

カネパッケージ株式会社 代表取締役社長

まずはじめに、皆様より頂いております多大なるご支援に心より御礼申し上げます。
皆様のお力添えなくして弊社の活動は成り立ちません。

弊社は「驚き・感動・安心をお届けする」という企業理念のもと、様々なCSR活動やSDGsに関する活動を行っております。とりわけマングローブ植樹（『KPGreen Earthプロジェクト』）には２００８年から力を入れており、2025年までに1500万本のマングローブを植えるという目標を掲げ、現在も取り組んでおります。

マングローブ林は温室効果ガスを吸収する機能に優れています。
世界的課題である気候変動は、政府だけでなく企業もまたその責任を担っています。
弊社はOECC（一般社団法人 海外環境協力センター）協力のもと、将来的にマングローブ林によって吸収された温室効果ガスを数値化し、カーボンクレジット認証する ことを予定しております。2017年にフィリピンと日本は二国間クレジット制度に合意し、その後も協力体制を強化していることもふまえ、弊社は関係各所と更に連携し、より多くのセクターにその輪を広げていくことを目指しております。

また、マングローブ林は沿岸地域に対し、津波等に対する防災や、生物多様性保護による食糧安全保障や経済的地盤強化といった恵みももたらします。
弊社が企業活動をさせて頂いている地域、そしてこの地球そのものへの恩返しとして引き続き取り組む所存です。

加えて、昨年はフィリピンでのマングローブ植樹をご支援頂いているコミュニティへ向けて医療支援活動を実施いたしました。地域の方々2000人以上に無償で医師の診察や治療を受けていただくというもので、中には生まれて初めて医師の診察を受けたという方もいらっしゃいました。地域の方々の嬉しそうな表情に、私たちも力を頂きました。このような活動も継続的に行っていく所存でございます。

あらためましてみなさまに感謝申し上げるとともに、また良いご報告をできる限り多くお届けできるよう、ますます力を入れて取り組んでいくことをここにお約束いたします。

● 会社概要

会社名	-	カネパッケージ株式会社
設立	-	昭和51年(1976年)9月29日
資本金	-	5,000万円
従業員数	-	1,540名 (関連会社含む)
事業内容	-	• 各種緩衝材・設計・試験・製造・販売 • 各種段ボール・OA機器等のソフト緩衝材などの販売 (海外キット製品管理・梱包・トータル物流)
役員	-	**会長** - 兼平　作太郎 **代表取締役社長** - 金坂　良一 **常務取締役** - 高村　賢二 **取締役** - 勝野　旭 兼平　良太 兼平　裕二

カネパッケージのCSRとSDGs基本原則 ●

カネパッケージのCSRプログラムと持続可能な開発目標(SDGs)は、1)環境、2)人々への支援、3)安心、持続可能性とイノベーションを含む３つの重要なテーマを含んでおります。

当社は、事業活動における温室効果ガス排出量の削減と、マングローブの炭素吸収による排出量のオフセットを通じて、2050年までにカーボンニュートラル企業を目指します。

気候変動による影響を緩和する為、グリーン・インフラやブルーカーボン・プロジェクトへの投資を継続いたします。

1 環境

マングローブ林再生・森林開発、ブルーカーボンプロジェクト

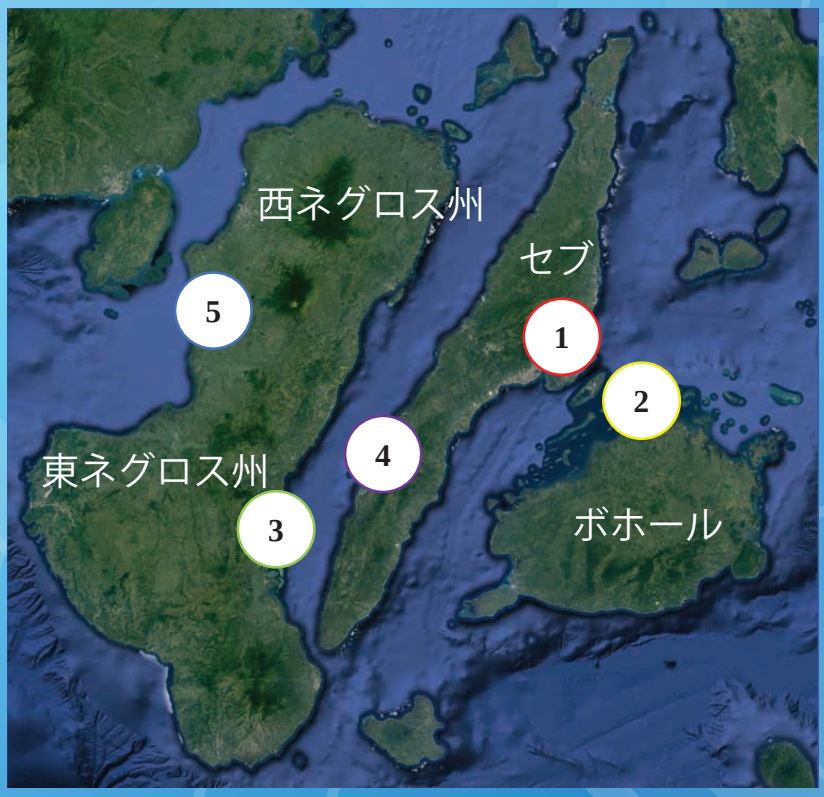
2 人々への支援

教育支援、学校建設プロジェクト、奨学金プロジェクト

3 安心、持続可能性＆イノベーション

生計支援、診療所プロジェクト、技術の導入

最新のマングローブプロジェクト●



総植樹数: 14,207,070本

1 オランゴ島　セブ

- 植樹数：450,575本
- エリア: 10ヘクタール以上
- 会員数: 35 名

2 バナコン島　ボホール

- 植樹数：13,428,644本
- エリア: 275 ヘクタール
- 会員数: 230 世帯

3 タンジャイ市　東ネグロス州

- 植樹数：221,000本

4 バディアン　セブ

- 植樹数：82,351本
- エリア: 6ヘクタール以上
- 会員数 :81 名

5 ビナルバガン　西ネグロス州

- 植樹数：24,500 本
- エリア: 2.5 ヘクタール
- 会員数 :47 名

• マングローブと気候変動緩和

気候変動は、世界的に最も差し迫った環境問題のひとつです。
海面上昇、異常気象、生態系破壊、生物多様性等、日々の暮らしへ影響を及ぼしており、
その影響は世界の様々な地域で顕著になってきています。

このような気候変動問題の中、マングローブ林は気候変動の緩和への取り組みに必要不可欠なものとして、さらに注目を集めています。
気候変動の緩和におけるマングローブ林の最も重要な役割の一つとしては、より多くの大気中の二酸化炭素の排出を抑制する能力にあります。
マングローブは大気中の炭素を取り込み、根や堆積物に蓄えます。
マングローブの複雑な根系は、大量の炭素を捕捉・保持し、大気中に放出されるのを防いでいます。
推計によると、マングローブは陸上の森林よりも1ヘクタールあたり最大5倍の炭素を抑制できるとされています。

カネパッケージグループは2009年からフィリピンでマングローブ林の再生に取り組んでおり、
すでに1400万本以上のマングローブを植樹しています。
この活動により二酸化炭素を削減し、フィリピンの気候変動の緩和への取り組みに貢献しております。

マングローブ植樹活動 •

マングローブ植樹活動を通してのビジネスパートナーシップ

2023年10月6日から9日にかけて、オランゴ島で第28回マングローブ植樹活動を開催し、日本からお客様や関係者様が来比されご参加いただきました。
ご参加者様は地域コミュニティであるオランゴ島エコツアー協会 の支援のもと、1,000本の苗木を植樹しました。

弊社の代表的な環境プログラムである「KPGreen Earth」を通じて、マングローブ林の再生と保全を産業界やビジネス界に対して働きかけ、波及効果を期待しております。

その後、ご参加者様を本活動開始時に一番最初に植樹した12年前の植樹地にご案内し、今や約2メートル以上の高さにもなるマングローブの木を見たり触ったりいただき、本活動の環境貢献とその影響に驚き・感動の声をいただきました。

マングローブ植樹活動 ●

第29回 マングローブ植樹活動

カネパッケージグループは、2023年11月23日から26日までセブ島・バディアンにて、マングローブ植樹活動を実施いたしました。
今回で、第29回目のマングローブ植樹活動であり、弊社の関連会社から計31名の参加者が集まりました。

地域コミュニティの方々の協力と支援により、約1,000本の様々な種類の苗を植樹することができました。
今回、私たちが植えた苗は、地域コミュニティの方々が苗床で約5ヶ月ほど育てたものになります。

マングローブ植樹活動は年に2回開催され、毎年海外を含む弊社の関連会社からの代表者がフィリピンを訪れて実施しております。

マングローブ植樹活動の一環で、地域への貢献活動も実施しており、今年の参加者はオスロブ地区にてジンベエザメ・ウォッチングおよび遊泳を体験し、思い出に残る経験となりました。

中国 VOION社役員様がマングローブ植樹活動へ参加

弊社のマングローブ活動は、ビジネスパートナー様からの参加と支援も継続的にいただいております。
2024年1月14日、Voion社 社長 Xiuzhu Ye氏と副社長 Lijun Lin氏が、セブ島バディアンにて実施されたマングローブ植樹にご参加いただけました。
また同時に、カネパッケージ・フィリピン社の兼平裕二社長、株式会社三幸製作所様の銭 製造部長もご一緒にご参加いただきました。

ゲストを温かく迎え入れてくれたのは、早朝7時から植樹現場で準備をしてくださった地域コミュニティのメンバーです。コミュニティのメンバーは、私たちが植えたマングローブの苗木を数ヶ月かけて苗床で育て、この日のために準備いただいており、そのほかにマングローブ植樹地の保護と管理も行っています。

カネパッケージ・フィリピン社とVoion社は、バタンガス州サント・トーマス LISP 3にて、Voion Kane Printing Eco Packing（Philippines）社という新しい合弁会社を設立しました 。

● マングローブ植樹活動

三菱UFJ銀行様よりマングローブプロジェクト支援

カネパッケージグループのビジネスDNAは、単なる利益追求ではなく、人と地球への価値に注力し、環境保護は政府だけの責任ではなく、人類共有の責任であると考えており、また地球を大切にする上で、企業は重要な役割を担っていると考えます。

2024年2月11日、三菱UFJ銀行 所沢支店様より5,000本分のマングローブ植樹への支援資金を寄付いただき、そのセレモニーをボホール バナコン島にて実施いたしました。

マングローブ活動における三菱UFJ銀行様とのパートナーシップに感謝申し上げます。

第32回 マングローブ植樹活動

カネパッケージグループは2024年2月23日から26日にかけて、マングローブ植樹活動を実施いたしました。本活動には、国内外の弊社の関連会社から計35名が参加いたしました。

弊社のパートナーであるDungguan Atub 農民漁民協会（Dungguan Atub Farmers and Fisherfolks Association）も植樹に参加いただき、協会のメンバーが今回植える苗を用意してくれ、植樹地の保護と管理も行っています。

本活動の一環として企業訪問があり、参加者はKPGROUP フィリピン社とカネパッケージ・フィリピン社を訪問し、また地域貢献として、マングローブ植樹の後は、セブ島南部の観光名所を見て回りました。

SDGsと気候変動対策

森林カーボンプロジェクト

森林炭素の二国間クレジット制度に関するワークショップ

弊社は、2023年11月16日にフィリピン、ケソン市の森林管理局（FMB）で開催された、三菱UFGリサーチ＆コンサルティング株式会社、林野庁、FMB共催の二国間クレジット制度（JCM）に関連するフィリピンと日本の森林セクターにおける協力促進に関するワークショップに参加しました。

二国間クレジット制度（JCM）は、先進的な脱炭素技術、製品、システム、サービス、インフラの普及や、気候変動緩和の実施を促進しており、フィリピンと日本は2017年1月、JCM導入に関する二国間協定に調印しております。

本ワークショップは、フィリピンにおける森林セクターの活動や課題について、参加者が意見を交換する機会となり、弊社は本マングローブ・プロジェクトとその森林カーボンプロジェクトの発展の可能性について発表いたしました。

カネパッケージグループは、2050年までにカーボンニュートラル企業になることを目指します。

地域への支援

デイケアセンターへの本と学用品の寄付

SDGsが定める「4, 質の高い教育をみんなに」を実施すべく、弊社は学期毎にデイケアセンターへ本や学用品を寄付しています。デイケアセンターがある地域は弊社のマングローブ植樹活動で貢献してくださっているコミュニティの地域であり受益者でもあります。
サンビセンテ（セブ）、バナコン島（ボホール）、マニピス（東ネグロス州）のデイケアセンターに通う合計296人の子どもたちが本と学用品を受け取りました。
本と学用品は、デイケアセンターの子どもたちの学習をより効果的にするとともに、カネパッケージグループが行っている地域社会への定期的な支援に、教師だけでなく保護者からも感謝の意をいただきました。

クリスマス プレゼント

クリスマスの時期に合わせて、セブ、ボホール、東ネグロス州地域のデイケアセンターの子どもたちへ、クリスマスプレゼントを贈るべく、弊社代表取締役社長の金坂良一とカネパッケージ・フィリピン社社長の兼平裕二が中心となり、196名の子どもたちへプレゼントを贈りました。

心温まる物語である「フランダースの犬」を弊社セブ拠点の営業部 Diana Loquiteが話し聞かせたり、プレゼントの開封時は子どもたちの幸せな顔を見ることができました。
コロナウイルスの影響により、十分に祝うことができなかったクリスマスを子どもたちは久しぶりに感じとることができたのではないかと思います。
保護者および教師陣は、弊社経営陣が地域社会へ実施している本活動に、心からの感謝の意をいただきました。

医療支援

SDGsへの取り組みである、3「すべての人に健康と福祉を」に沿って、カネパッケージグループは、2023年5月25日から29日に かけて、40人以上のボランティアの医師や医療関係者で構成されている「Medicspedition」とともに医療支援を実施しました。

オランゴ島サンビセンテ地区で実施したオープニングセレモニーにて、カネパッケージグループ代表取締役社長金坂良一は、健康の重要性を地域の方へ訴え、オランゴ島が第二の故郷である旨お話いただきました。
金坂は、2008年からオランゴ島を訪れ、環境社会に関するプロジェクトを支援し続けております。

医療支援を実施した、オランゴ島（セブ）、バナコン島（ボホール）、バンカル地区（セブ島ラプラプ市）で合計約2,167人の患者に簡易手術、歯科、皮膚科、血液検査、子宮頸がん細胞診、心電図、視力検査、割礼、小児、成人、高齢者の健康診断等の医療サービスを無料で提供いたしました。Medicspeditionチームは、医療支援だけはでなく、最先端技術と携帯用検査機器等も持ち込み、献身的に島民の治療にあたってくださいました。

関係者によると、このような支援は、これまでに実施された支援のなかでも最大の医療支援であり、不足していた医薬品が十分に提供できたとのことでした。カネパッケージグループは、処方薬、市販薬、ビタミン剤等を準備し、全ての患者へ処方量を配布することができました。

今回、医療支援を受けたマングローブ活動で協力いただいている受益者のほとんどは、漁業が主な生計手段であるため、不安定な収入であり、十分な医療サービスを受けることができません。今回の弊社の医療支援は、マングローブの受益者だけでなく地域の関係者からも深い感謝を意をいただきました。また、本プロジェクトの為に、サポートしてくださったMedicspedition チームにも感謝の意を示したく存じます。
カネパッケージグループは、本医療支援をCSRとSDGsプログラムの一環として実施しており、このような活動は単純な利益の追求のためだけでなく、人々に価値をもたせ、人々と地球に還元するというカネパッケージグループDNA精神のもと実施しております。

地域への支援

株式会社三幸製作所様と株式会社興伸工業様より医療機器の寄贈

2023年5月25日にセブ島ラプラプ市サンビセンテ地区で行われたカネパッケージグループ主催の医療支援の際に、カネパッケージグループの関連会社である株式会社三幸製作所様と株式会社興伸工業様が、セブ島とボホール島へ医療機器を寄贈しました。

寄贈は、サンビセンテ地区（セブ島）とバナコン地区（ボホール島）の保健センターと医療支援時にサポートいただいた医療チームであるMedicspeditionへ、それぞれポータブル吸引器1台とマニュアル蘇生器1台ずつ寄贈しました。

株式会社三幸製作所様と株式会社興伸工業様の両社は、金坂のリーダーシップを通して、マングローブ活動に注力し積極的に協力してくださっている地域社会の皆様への感謝の意を込めて、マングローブ活動で協力してくださっている特定地域の保健センタ ーへ支援を行う表明をしました 。

視力回復で希望を：眼科手術への資金支援

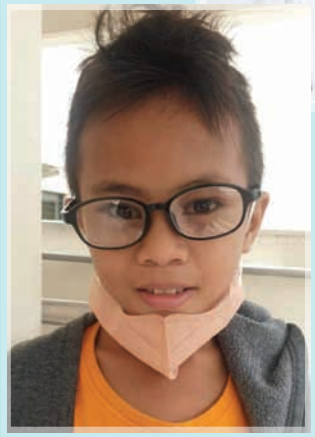
2023年5月25日から29日にかけて行われた弊社の医療支援は、医療支援を提供したその日のみでは終わらず、とある少年の目の手術も支援いたしました。
オランゴ島に住む10歳のCJ Pejanco君は、重度の白内障であることが判明し、すぐに手術を受ける必要があるとサポートいただいた医師より診断されました。

彼だけでなくその他の患者の重症例も報告されると、金坂は迷わず支援を表明しました。支援時には、KPGroupフィリピン社のJean Calapuanが医療センターに患者と付き添いました。

そして、医療支援後、支援が必要だった一人である CJ君の目の手術が決定となりました。

CJ君はカネパッケージグループの資金援助により、必要な検査を受け、すべてクリアになった後、2023年8月16日に医療センターで両目の白内障手術が行われました。術後には随時検診を行い、視力回復まで弊社で支援し、
現在は CJ君の視力は回復し、同級生や遊び仲間からのいじめがなくなり、皆と同じように普通に生活できるようになりました。

彼の両親は、CJ君の手術を支援してくれたカネパッケージグループに対して感謝の意を表しました。



今年度いただいた受賞等

Certificate of Recognition
認定証

ラプラプ市サンビセンテ地区政府様より、
2023年5月25日

Plaque of Recognition

マンダウエ市教育省地域7教育部門様より、
2023年12月7日

Certificate of Recognition
認定証

マンダウエ市教育省地域7特殊教育部門様より、
2023年7月10日

Environmental Champion Award
環境賞

リマテクノロジー・センター様より、
2024年3月22日

>>>

日本
カネパッケージ株式会社

- 本社:埼玉県入間市
- 東北営業所(青森)
- 白河営業所
- 柏事業所(千葉)
- 大阪営業所
- 神奈川営業所
- 東京営業所(青梅)

1976年9月29日設立

フィリピン
カネパッケージフィリピン社

- Laguna工場　Calamba laguna
- LIMA工場　Malvar Lipa Batangas
- FPIP工場　Sto. Tomas Batangas
- Cavite倉庫　Rosario Cavite
- Cebu倉庫　MEPZ1,Lapu Lapu City,Cebu

1996年8月8日設立

スーパー・フレックス・ロジスティック社

- Binan Laguna

2004年5月14日設立

KPグループフィリピン社

- Alabang Muntinlupa

2011年7月9日設立

タイ
カネパッケージタイランド社

- Ayutthaya, Thailand

2006年2月26日設立

ベトナム
カネパッケージベトナム社

- ハノイ支店 –Dong Anh District, Hanoi
- アマタ支店 –Bien Hoa Town Ho Chi Minh

2005年5月31日設立

インドネシア
カネパッケージインドネシア社

- Lippo Cikarang, Bekasi

2012年1月3日設立

中国
カネパッケージ香港社
カネパッケージ蘇州社

2005年設立

● 弊社役員・従業員より皆様へ

高村　賢二
KANEPACKAGE CO. LTD.
本社常務取締役

カネパッケージは、サステナビリティ経営で事業を強化する実際的な事業戦略の一つとして捉えており、「環境」「社会」「ガバナンス」の観点からさまざまな活動を通じて持続的な企業価値の向上に繋げる努力をしております。

環境に対する取り組みについては、まさにこの言葉が当てはまるのではないでしょうか。社会の持続可能性に貢献することは企業の責務と考え、環境保護やCO2排出量削減にも早くから取り組んでおり、ステークホルダーからの信頼を得られていけると確信しております。

2024年度は活動をさらに加速し、付加価値の高い製品の開発や新しいビジネスの創出に従業員一丸となって取り組んでまいります。

勝野　旭
KANEPACKAGE CO. LTD.
本社取締役/海外事業統括

当社海外事業部は最初の進出国であるフィリピンから始まり、28年が経過しました。現状では6か国、13拠点に展開しており、従業員は1200名を超えています。昨今の環境が大きくまた早く変化する中、皆様のおかげで毎年成長を続けています。
その中で私たちは地球環境に配慮し、地域社会と 調和し、持続的なビジネスを各国で展開する必要があります。CSR活動として始めたマングローブ 植樹は、1,500万本達成間近となっており新たなステージへと移りつつあります。
今後は科学的な 分析から温暖化ガスの吸収量やクレジット化も目指し、活動を続けてまいります。
私たちは持続可 能な未来の実現に向けて歩み続けます。常に環境への配慮を忘れず、コンプライアンスを遵守し、SDGsへの貢献を積極的に追求してまいります。

兼平　裕二
KANEPACKAGE PHILIPPINE INC.
SUPERFLEX LOGISTIC INC
本社取締役/フィリピン各現地法人社長

私たちカネパッケージ・フィリピン社は、二国間クレジット取引制度を利用してLaguna工場とLIMA工場に太陽光発電システムを設置しました。

フィリピン共和国においては火力発電が主流であり、少ない資源でクリーンエネルギーを利用することで環境保全に貢献したいという考えから設置いたしました。
また、この取り組みが従業員の環境意識の改革にも繋がることを期待しています。

八木　誠吾
KANEPACKAGE PHILIPPINE INC.
SUPERFLEX LOGISTIC INC
本社執行役員/フィリピン各現地法人副社長

今年も　色々と例年に続き環境の取り組みが出来た事に感謝すると共に，協力していただいた皆様に御礼を申し上げたい。

今回は，環境取り組みを通じて医療の支援なども行えて益々広がりを見せて行っている。

事業に参加する従業員もこの様な会社の取り組みに誇りを感じて益々仕事に真摯に取り組んでくれている。

益々今後も環境に関する取り組みを行うと共に関わるメンバーも幸せになれる様な
取組にしていきたいと思う。

石崎　純平
PT. KANEPACKAGE INDONESIA
インドネシア現地法人社長

当社では、SDGsという言葉が生まれるずっと前から、植樹や社会福祉に関する取り組みを積極的に行って参りました。長年に渡る取り組みがまさに「持続性」のある活動となっているのは、ひとえに当社企業活動にかかわる全ての皆さまのおかげに他なりません。
あらためまして心より御礼申し上げます。
世界有数の人口を持ち経済成長も著しいインドネシアですが、その反面で、水質汚染や森林の減少、大気汚染、経済・福祉の格差拡大など、多くの問題に直面しています。進出企業としてインドネシアに恩返しができるよう引き続き取り組んで参ります。

設楽　淳一
KANEPACKAGE VIETNAM CO. LTD.
ベトナム現地法人社長

2020年にベトナム政府は、2030年までに温室効果ガスの排出量を2010年のレベルに対して8%から25%削減するという目標を設定しました。
これは、国内の経済成長を維持しつつ、 持続可能な開発と環境保護を両立させるためのものです。
またベトナム政府は再生可能エネルギーの導入を積極的に推進しており
弊社でも太陽光発電の導入を検討しております。
環境への取り組みは、私たちカネパッケージにとっても不可欠な責任です。
製品の生産やプロセスの改善を通じて、環境負荷を最小限に抑えることを進めております。
製造だけでなく、オフィスでのペーパーレス化、プラスチック使用量の削減なども進めております。
そして環境への配慮を考慮した設計や素材の選択など、積極的に取り組んでおります。
これは単なる義務ではなく、カネパッケージのビジョンの一部です。
私たちの取り組みが、より持続可能な未来につながることを信じています。

Mr. Yoshihisa Kaida
KANEPACKAGE THAILAND
President

カネパッケージグループは国際的な気候変動対策に沿いながら、経済 的発展と環境保全の両立を目指すべく、新たな枠組みの構築に積極的 に取り組んでいます。このような活動は、我々の社会的責任を自覚、 そして遂げるもののみならず、更には持続可能な企業であるために不 可欠なものと捉えています。

外務省の調査によれば、2017年の日本企業の海外進出はアジア市場が 圧倒的に多く、全体の70%を占めています。そして、タイは、東南ア ジアにおいて、最も注目すべき市場として突出した存在と位置付けら れています。タイは鎬を削る厳しい市場ですが、我々は、何よりも環 境への取り組みを優先し、お客様に新たな価値を提供して参ります。
カネパッケージ・タイランドは、グループ方針である「驚き・感動・ 安心」のもと、全社員が一丸となって、より良い社会の実現に向け取 り組んでいます。今後とも、環境に配慮した提案活動を通じ、企業の 社会的責任を果たしく考えです。今後とも、より一層、持続可能な未 来づくりに邁進致します。
皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し 上げます。

KP CSR & SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

継続目標と短期目標

- 社内と地域コミュニティよるマングローブ植樹活動
- 医療支援と診療所の引き渡し
- 地域社会の為の奨学金プログラム

長期目標

- マングローブ植樹1500万本
- 森林炭素プロジェクトの開発
- 2050年までにカーボンニュートラル企業

KPGroup Philippines, Inc

Alabang, Muntinlupa
23F Tower 1, Insular Life Corp. Center, Filinvest,
Alabang, Muntinlupa City
Tel. No.: 02 8555 1098

Lapulapu City, Cebu
510 iMEZ Bldg., The Outlets at Pueblo Verde,
MEZ2, Basak, Lapu-lapu City, Cebu
Tel. No: 032 8268 5903